

「中信地区 学校図書館教育研究会を終えて」

松本支部代表 菅野小学校 小沢 智子

平成 30 年度「中信地区学校図書館研究会」は、10 月 11 日（木）に松本市立菅野小学校・菅野中学校を会場として以下のように開催され、充実した研修となりました。

- 1 テーマ 「自ら学び、豊かな心を育てる図書館教育はどうあったらよいか」
- 2 公開授業・授業研究会

授業校	単 元 名	授業学年・授業者	助 言 者
菅野小	「むかしばなしがいっぱい」 (こくご)	小学校 1 年 上兼恵理教諭	北信教育事務所指導主事 古旗 明 先生
	「椋鳩十作品のみりよくある表現を味わおう」 (国 語)	小学校 5 年 原田 実教諭	総合教育センター専門主事 依田 学 先生
菅野中	「将来ビジョンマップを作ろう」 (総合的な学習の時間)	中学校 1 年 森 祐子教諭	中信教育事務所指導主事 岡田 泰輔 先生
	☆図書を使う授業：7 教室公開		

3 講 演

演題『学校図書館の活性化をめざして ～学ぶ・楽しむ・つなげる図書館活用～』

講師 藤田 利江先生（全国図書館協議会 S L S）

4 参加者

小学校公開授業：75 名 中学校公開授業：38 名 講演会：125 名

5 まとめ

中信地区より各学校の司書教諭・学校司書・図書館教育に関わる先生方にご参加いただき、学校図書館教育研究会を実施することができた。小学校では、1 年生が毎週読み聞かせをしてきている 6 年生に、昔話を 1 冊紹介しようというめあてをもち、ペアで昔話を読み、読書記録を蓄積。それを基に話し合い、理由をもって 1 冊を選ぶ授業を、第 2 図書館「おはなしの森」で行う。5 年生は、『大造じいさんとガン』で、心情変化や情景描写の魅力や効果について学んだ。並行して他の椋作品を読み、友だち同士で魅力ある表現を伝え合い練り直し、ポップにして全校に紹介する授業を作品別グループで行う。中学校では、1 年生のキャリア教育「将来ビジョンマップを作ろう」の導入で松本大学図書館司書の松島先生から図書館活用の方法やよさをお聴きし、個々に調べたいことを太陽チャートに記入し、調べ学習を進める授業を行う。また、他教室でも、図書を活用した授業を公開。特別教室にその教科に関連する図書館の本が別置されている様子も参観できた。

参観者からは、「1 年生が昔話のおもしろいところをたくさん書き出し、6 年生に紹介する 1 冊を選んでいてすばらしい」（小 1）「椋作品の魅力ある描写が同じ所を選んでいても感じ方が異なることを伝え合うことで子どもたちは自分の文を練り直す姿が見られた」（小 5）「PC で調べる以上に図書を用いて調べるよさを生徒は感じていた」「太陽チャートは有効である」「他の教科でも図書を活用して自校でも実践していけたらよい」（中）等、たくさんの感想をいただいた。菅野小・中学校の今後の実践に繋げていきたい。



藤田利江先生の講演会では、講義と共にカードや新聞、ペアでの演習を織り交ぜながら元気になる研修となった。「ぜひ、学校へ持ち帰り先生方と共有して実践していきたい」「日頃なかなか実践できていない調べ学習を楽しみながら進めていきたい」等々の感想をいただき、好評であった。本年度半日開催としたが充実した研究会となった。